

平成28年度 筑前町社会福祉協議会事業報告書

■総括的概要

社会福祉法人の制度改革を内容とした社会福祉法改正法が平成28年3月31日可決成立しました。

この改正の主な内容は、社会福祉法人が「地域における公益的取組を実施する責務」、役員報酬基準などを公開する「事業運営の透明性の向上」、評議員の権限強化などの「経営組織のガバナンスの強化」、余裕財産を明確化するなどの「財務規律の強化」となっています。法案成立後に政省令が示されて定款改正、理事・監事の役員定数、評議員定数など様々な議論を行ってまいりました。

筑前町社会福祉協議会は学童保育所の運営、ふれあいいきいきサロン事業、障がい者相談事業、配食サービス事業及びボランティアセンター運営などの受託事業と、赤い羽根共同募金からの配分金で実施する一人暮らし高齢者の事業、障がい者の社会参加・交流、ボランティア団体や各種福祉団体支援など、事務局組織体制を整備し、地域の皆様の期待に応えるよう努めてまいりました。

■事業別実績

1. 法人運営

(1) 法人運営事業

①会議の開催

ア) 理事会評議員会の開催

名 称	期 日	内 容
監査会	5月13日	・平成27年度決算監査
第1回理事会	5月26日	・理事、評議員の補欠就任 ・平成27年度事業報告、収支決算書の承認 ・監査報告 ・評議員の選任
第1回評議員会	5月26日	・理事、評議員の補欠就任 ・平成27年度事業報告、収支決算書の承認 ・監査報告

第2回理事会	8月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 ・平成28年度敬老の日お祝い事業 ・社会福祉法人制度改革について ・熊本県被災地支援 ・平成28年度赤い羽根共同募金運動実施計画
第3回理事会	12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・監事、評議員の補欠就任について ・平成28年度市町村社会福祉協議会指導監査の結果について ・筑前町社会福祉協議会理事・監事・評議員選出規定の一部改正について ・筑前町社会福祉協議会定款の改正について ・筑前町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ・役員及び各種委員会委員等の費用弁償に関する規程の一部改正について ・平成27年度収支決算の修正及び資産総額の変更登記に係る校正について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
第2回評議員会	12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・監事、評議員の補欠就任について ・平成28年度市町村社会福祉協議会指導監査の結果について ・筑前町社会福祉協議会理事・監事・評議員選出規定の一部改正について ・筑前町社会福祉協議会定款の改正について ・筑前町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ・役員及び各種委員会委員等の費用弁償に関する規程の一部改正について ・平成27年度収支決算の修正及び資産総額の変更登記に係る校正について

監査会	1月23日	・平成28年度中間監査
第4回理事会	3月16日	・役員選考委員会報告について ・平成28年度赤い羽根共同募金の実績について ・平成27年度収支決算の修正及び資産総額の変更登記に係る更生について ・評議員候補者の推薦について ・平成29年度事業計画案について ・平成29年度予算案について
評議員選任・解任委員会	3月17日	・平成29年4月からの評議員の選任決議
第3回評議員会	3月21日	・役員選考委員会報告について ・平成29年4月からの評議員報告 ・平成27年度収支決算の修正及び資産総額の変更登記に係る更生について ・平成28年度赤い羽根共同募金の実績について ・平成29年度事業計画案について ・平成29年度予算案について

イ) 福祉部会の開催

民生部会 8月17日

平成28年度赤い羽根共同募金、敬老の日記念品贈呈について

(2) 事務局体制の整備

総務係、地域福祉係、総合相談係を設置し、事務局機能の効率化と総合力を高めました。

(3) 役職員研修

① 障がい者福祉事業

朝倉地区障害者自立支援部会子ども支援部会、研修	年間5回
精神障がい者地域支援会議・研修	4回
発達障がい・重度障がい支援研修	3回

障害者総合支援法における障害支援区分認定調査員研修	11月 8日 (火)
---------------------------	------------

②地域福祉事業

福岡県地域活動職員連絡会総会、研修	5月13日 (金)
両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会、研修	4月18日 (月) 8月10日 (水) 8月31日 (水) 11月16日 (水) 3月23日 (木)
これからの地域福祉をより深く学び私たちの考え方を再構築していく研修会	9月 6日 (火) 10月24日 (月) 11月21日 (月) 12月19日 (月) 1月16日 (月)～17日 (火) 2月20日 (月)
両筑地区社協連絡会地域活動部会主催 災害ボランティアセンター設置訓練 (会場：朝倉市)	11月 5日 (土)
両筑地区社協全体研修会	12月10日 (土)
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	5月27日 (金) 8月19日 (金) 11月22日 (火)
全国ボランティアコーディネーター研究集会2017 (大野城市)	3月 4日 (土)～5日 (日)

③社協職員活動

熊本県益城町 災害ボランティアセンター運営支援	5月14日～18日 (甲斐) 7月17日～21日 (浦)
熊本県西原村災害ボランティアセンター支援	6月 3日 (金子、池田) 6月 4日 (金子、池田) 6月 5日 (浦) 6月 9日 (鎌田、林) 6月11日・12日 (甲斐)

	6月20日(池田、浦) 6月21日(甲斐、林)
体験型防災訓練(環境防災課) 車椅子の基本操作方法と注意点など	10月2日(日)(山隈区) 3月12日(日)(当所区)
ちくぜん町探検隊(生涯学習課)福祉体験指導	11月19日(土)
行橋市ボランティア連絡協議会視察受入れ	9月29日(木)
朝倉市ボランティア連絡協議会視察受入れ	2月16日(木)

(4) 広報活動の推進

社協の事業を広く町民に情報発信し、福祉事業への理解と支援を求めました。

- ・「ちくぜん社協だより」を年4回発行(5月・7月・10月・1月)
- ・「声の社協だより」(CD)を視覚障がい者、施設等に配布
- ・赤い羽根共同募金チラシを10月に発行
- ・「共同募金だより」を3月に発行
- ・町の「広報ちくぜん」に毎月掲載と町の防災無線の活用

2. 社会福祉事業

(1) 独自事業

①心配ごと相談事業

(ア) 心配ごと相談

日常生活の悩みや心配ごとの相談窓口として、他の公的機関との連携を図り問題解決に努めました。

毎月第1、第3金曜日の午後1時30分から午後4時まで、コスモスプラザ保健館の相談室で実施しました。

相談員 民生委員 4人 調停相談員 3人 人権擁護委員 6人
行政相談員 2人 母子相談員 1人

相談実績 38件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	6	3	5	2	2	2	5	3	2	3	4	1	38

相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解決内容				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生 計	0					
年 金	0					
生 業・職 業	1					1
住 宅	5		2		2	1
家 族 (嫁姑問題)	7	4				3
結 婚	1					1
離 婚	2				2	
健康・衛生	2	1			1	
医 療	1	1				
精神衛生	0					
人権・法律	1				1	
財 産 (相続、財産分与)	10	1			6	3
事 故	1				1	
児童福祉・母子保健	0					
教育・青少年	0					
心身障害者 (児) 福祉	0					
母子・福祉	0					
老人福祉 (独居の買い物不自由、認知症)	0					
苦 情	3	1			2	
その他 (夫婦間のトラブル、お墓に関する事、兄妹からのいやがらせ、地域)	4	2			2	
合 計	38	10	2	0	17	9

(イ) 相談員研修 2月28日 法テラスについて (民事法律扶助制度)
離婚問題と債務整理

(2) 受託事業

①ふれあいいいききサロン事業

おおむね 65 歳以上の在宅高齢者を対象に、住み慣れた地域で安心して暮ら

すことができるよう地域のみんなが支え合い、共に元気で楽しく一日を過ごし、心を通わせる「よりあい」の場となるサロンに取り組みました。

台風や大雨などで16回中止となりましたが、延べ実施回数は増加しました。

ア) 実施状況

- ・実施区 35地区
- ・参加登録者数 1,143人
- ・延実施回数 367回
- ・延参加者数 7,138人

<平成28年度区別実績と参加者数>

単位：人

	区名	65歳以上	65歳未満	合計	開催回数	延参加者数
1	大塚	18	1	19	10	111
2	弥永	34		34	6	100
3	依井	54		54	11	257
4	依井二	37	3	40	13	296
5	高田	48		48	10	218
6	新町	48	1	49	8	164
7	野町	54	11	65	7	193
8	原地蔵	19	1	20	11	137
9	久光	31	3	34	11	215
10	栗田	66		66	8	272
11	森山	24	3	27	6	110
12	当所	24	1	25	11	159
13	上高場	34	5	39	11	328
14	大久保	5	3	8	8	42
15	山隈	28	4	32	12	301
16	高上	18		18	12	127
17	朝園	26	5	31	11	283
18	砥上	21	1	22	11	161
19	松延本村	29	1	30	11	264
20	松延新道	20	2	22	10	131
21	中牟田町	28	1	29	12	241
22	中牟田村	37	4	41	11	268

23	下原	15	1	16	11	144
24	朝日東	20		20	11	141
25	朝日西	42		42	12	343
26	二	32	1	33	12	249
27	篠隈	42	2	44	11	252
28	篠隈新道	20	4	24	11	190
29	東小田上	21		21	12	179
30	東小田下	11	2	13	11	124
31	福島	25	4	29	12	245
32	四三嶋	13	5	18	13	197
33	下高場	72	5	77	10	448
34	安野	40	3	43	11	203
35	八並	9	1	10	9	45
	合計	1,065	78	1,143	367	7,138

※開催回数と参加人数には、合同交流会の実績を加算しています。

イ) 各種講座等

各サロンで出前講座や独自の取組みがありました。

ロコモ予防	8回	健康レクサ	13回
悪質商法	6回	独自活動	
認知症予防	6回	グランドゴルフ	3回
生活習慣病予防	5回	カラオケ	2回
熱中症予防	4回	人権講座	2回
昔の暮らし	3回	絵手紙	2回
地域の民話と伝承	3回	園児との交流	2回
その他(町出前)	10回	その他活動	7回

ウ) 小学生との交流会

夏休みにPTA等の協力により10地区で小学生との交流会を実施しました。小学生 111人 PTA等 31人

エ) 野外活動について

四季折々の花見や散策、工場見学など野外活動を楽しみました。

4月・・・1区	5月・・・5区	6月・・・3区
9月・・・3区	10月・・・15区	11月・・・2区

3月・・・1区

計 30区

オ) 代表者会議

各区のサロンが円滑に継続できるように3回実施しました。

期 日	参加者	内 容
4月22日	49人	・28年度事業計画説明 ・助成金交付
10月6日	46人	・合同交流会について ・出前講座、野外活動について
2月14日	60人	・28年度事業報告及び29年度の事業計画 について ・2区サロンの活動報告

カ) 合同交流会

他地区の会員との親睦と、地域の連携を深めることを目的に合同交流会を開催しました。

1班	12月	2日(金)	下高場公民館	7区	163人
2班	12月	5日(月)	めくばり館	9区	174人
3班	12月	8日(木)	下高場公民館	7区	154人
4班	12月	12日(月)	めくばり館	9区	179人

キ) サロンの拡大

野町区サロンが7年ぶりに再開しました。

②在宅高齢者等配食サービス事業

調理が困難な高齢者等に、栄養のバランスのとれた昼・夕食の提供と、安否確認を行いました。

ア) 配食サービス利用食数

月	月利用者	食数	月	月利用者	食数
4月	48人	1,378食	10月	48人	1,342食
5月	49人	1,449食	11月	47人	1,288食
6月	50人	1,401食	12月	46人	1,271食
7月	48人	1,294食	1月	45人	1,216食
8月	46人	1,293食	2月	46人	1,177食
9月	49人	1,299食	3月	46人	1,303食
		月平均	47人	合計食数	15,711食

③敬老館運営事業

ア) 利用人数

	年間
開館日数	301日
入館者数	9,941人

イ) カラオケ、訓練器具利用状況

	カラオケ		訓練器具
	町内	町外	ハッピーライフ
年間	239	0	84

ウ) イベント開催

- 5月18日 (水) すずめの会演芸
- 6月14日 (火) 健康講座 (口の中のはなし)
- 6月24日 (金) 美重秀会 (三味線・尺八) の慰問コンサート
- 7月 6日 (水) 豊澄美の会日本舞踊
- 8月25日 (木) すずめの会演芸
- 10月21日 (金) すずめの会演芸
- 11月16日 (水) オセロ大会
- 12月20日 (火) クリスマス会
- 1月17日 (火) すずめの会演芸
- 2月24日 (金) 健康体操
- 3月24日 (金) もやいの会演芸

④敬老館食堂事業

ア) 28年度売上状況

(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	391,910	406,240	399,320	456,840	397,560	442,090
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	386,130	439,660	399,670	382,140	406,970	481,020
					合計	4,989,550

⑤放課後児童健全育成事業

入所児童の増により、様々な研修会に参加し安全第一で運営に努めました。

ア) 入所児童数

	みわっ子SUN ² クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り

1年	37	33	36	32	30	23
2年	35	27	18	13	10	6
3年	13	10	23	18	17	10
4年以上	4	2	5	2	9	5
合計	89	72	82	65	66	44

夏休みだけの受け入れ 0

イ) 学童連絡会

関係機関との連携と情報共有の場。児童への対応助言を目的に、こども課担当者・家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー・各学童主任の参加で実施しました。

- ・3学童合同 4月 3月
- ・のびのびクラブ 5月 8月 11月
- ・すくすくクラブ 6月 9月 12月
- ・みわっ子SUN²クラブ 7月 10月 1月

ウ) 保護者会・役員会等の開催

各学童の保護者会や保護者役員会へ参加しました。

エ) 支援員の育成

- 5月29日(日) 2016年放課後児童支援員新人研修会 4人参加
- 6月24日(金) 自立支援部会子ども支援部会主催「発達が気になる子どもたちへの関わりと、保護者対応」3人参加
- 9月17日(土) 福岡県放課後児童支援員認定研修会 3人参加
- 12月2日(金) 子ども支援部会 事例検討会 3人参加
- 1月20日(金) 福岡県放課後児童支援員等スキルアップ研修会 3人参加
- 1月22日(日) 福岡県学童保育研究集会 3人参加
- 1月25日(水) 食物アレルギー対応研修(社協主催) 8人参加
- 1月30日(月) 普通救命講習(社協主催・敬老館共同) 16人参加
- 2月17日(金) 要保護児童対策及び児童虐待防止対策研修会 4名参加

⑥ 障害者相談支援事業

障がい者や介護者等からの各種相談に応じ必要な情報提供や助言を行いました。

ア) 相談業務

精神の疾患による相談が増加しています。そのため、安心を感じてもらえる対応に努めました。

(利用者数) 精神 248件・知的360件・身体318件・その他5件

男性 537人 女性 394人

延べ総数 931人

イ) 障がい者相談日

毎月第3火曜日に実施しました。

相談者数 7件

ウ、障害支援区分認定調査

児童のサービスが充実してきたので、専門的支援や家族の支援に繋がってきました。

・区分 33件・継続 35件

・児童 57件・訓練 50件 その他 1件

総計 176件

⑦ コミュニケーション支援 (筑前町手話・要約筆記奉仕員派遣事業)

障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に手話通訳者等の派遣を行いました。そのことで聴覚障害者が病院受信や活発な社会参加(講演や講習、会合)の機会が増加しました。

・利用登録者 14人 通訳登録者 12人 利用実績 45件

⑧在宅介護者の支援

在宅で介護している介護者が日頃の疲れを癒しリフレッシュすることを目的とし、同じ悩みをもつ者同士の交流、情報交換の場として実施しています。

そつたく基金の活用で年3回実施しました。

・1回目 佐賀県嬉野市

5月23日(月) 参加者 14人

・2回目 大分県湯布院

10月27日(木) 参加者 18人

・3回目 花立山温泉

「認知症カフェ」活動紹介 (城山荘) 熊谷真由美さん

3月7日(火) 参加者 9人

⑨生活福祉資金貸付事業

平成28年度貸し付け相談件数	28件
貸付決定	教育支援資金 4件
	福祉資金貸付 4件
	計 8件

⑩日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分なため、日常生活に困っている方に、福祉サービスの利用や日常金銭管理のお手伝いをします。

平成28年度利用者	高齢者	1人
	知的障がい者	1人
	精神障がい者	5人
	計	7人

⑪筑前町ボランティアセンター運営事業

センターの認知とボランティア活動の理解と推進を目的にイベントを開催しました。また、センターだよりを年2回の発行から3回に増やし、より多くのボランティアに関する情報発信を行いました。

ア) ボランティア登録状況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月
団体	16団体 206人	1団体 22人	0団体 1人	0団体 0人	0団体 0人	0団体 0人	0団体 6人
個人	31人	2人	2人	2人	0人	0人	0人
合計	237人	24人	3人	2人	0人	0人	6人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
団体	0団体 2人	0団体 0人	0団体 0人	0団体 0人	0団体 4人	0団体 0人	17団体 241人
個人	2人	2人	8人	1人	2人	1人	53人
合計	4人	2人	8人	1人	6人	1人	294人

イ) ボランティア調整数

調整数	44件
マッチング数	41件

ウ) ボランティア依頼分野及び件数

依頼分野	件数
障がい者分野	25件
高齢者分野	6件
子ども分野	9件
地域活動分野	4件

エ) 情報の発信

- ・ボランティアセンターだより (4、8、11月) 発行 活動・講座報告、講座案内等
- ・センターホームページ 講座案内、センターだより内容等
- ・センター内フリースペースでのボランティア関連の情報掲示

オ) 講座開催

開催日	内容	参加者数
6月11日(土) 「聞こえのサポーター講座」	聞こえについてや、コミュニケーションする方法を学ぶ講座	17人
9月24日(土) 「声のボランティア基礎講座」	ナレーター、司会経験者による発声や朗読のポイント、抑揚等の基本的なことを学ぶ講座	23人
10月5日～12月14日 (毎週水曜日) 「手話体験講座」	聴覚障がい者への理解と、簡単な日常会話等の手話について学ぶ講座 (全10回)	9人
12月10日(土) 「声のボランティア応用講座」	基礎講座を受講した人を対象に、実際にお知らせや朗読を読むことで、さらに深く学ぶ講座	13人

カ) イベント開催及び参加

- ・ボランティアフェスタ♪in筑前町の開催
11月20日(日) 参加者 143人
- ・ふくおかきずなフェスティバル(福岡県社協主催)へ参加
2月19日(日) 参加者 26人

(2) 赤い羽根共同募金運動

毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その共同募金は、福岡県共同募金会に納金後、筑前町社会福祉協議会に配分金として配分されます。配分金は翌年度の事業費として、地域福祉活動の貴重な財源となっています。

募 金 額

募金内訳	目安額	実績額	内訳
戸別募金	5,463,600	5,088,598	51区
企業募金	1,590,000	1,551,148	338件
個人募金	500,000	680,400	327件

学校募金	21,000	15,966	6校(町内小中学校)
団体募金	290,000	322,042	老人クラブ その他
資材募金	351,440	326,595	バッジ・カード等
その他の募金	156,000	124,226	街頭・窓口募金 自販機・祭り等
募金総額	8,372,040	8,108,975	

(3) 共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

①サロン指導員の育成

現在18人の指導員が活動しています。

○筑紫野市福祉レクリエーション講習への参加

5月26日・6月2日・6月9日 計3回 のべ18人参加

○毎月の定例会での研修会

定例会前1時間で、先輩指導員から手軽にできる隙間ゲームやミニレクの指導を受けました。

②ひとり暮らし高齢者のつどい

70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、閉じこもりの解消、生きがいつくり交流を図ることを目的に開催しました。

・大分県湯布院町

11月 7日 31人 11月10日 30人

③敬老の日記念品贈呈

敬老の日祝いとして、白寿(99歳)と米寿(88歳)になられた方に記念品として、商品券を贈呈しました。

白寿 12人(10,000円) 米寿 163人(5,000円)

④金婚お祝い事業

今年結婚50年を迎えられた30組のご夫婦にお祝いの記念品をお届けしました。

B. 障がい者福祉事業

① 障がい者のつどい

障がい者の社会参加の機会と、障がい者同士の交流を深める情報交換の場を提供することを目的に開催しました。

- ・ 11月 8日 (火) コスモスプラザ会議室1・2・3
- ・ 内 容 体験発表 ほっとスペースあさくら
人形劇「ピノキオ」 劇団パレット

② 重度障がい者遠足会

日頃一人での外出が困難で介護が必要な障がい者を対象に、外出の機会づくりと障がい者間、世代間の交流を目的に開催しました。

- ・ 12月13日 (火)
博多駅周辺散策 参加者 23人

③福祉用具等の貸与

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
車イス等	2	5	2	4	2	8	5	6	4	1	3	4	46
福祉器具	0	0	1	0	0	3	1	1	1	0	0	2	9
レク用具	1	0	2	3	1	1	3	3	4	2	3	3	26

C. 児童・青少年福祉事業

①小学生の福祉教育の推進

三並小学校4年生の総合的学習の14時間に参加しました。小学校が児童に対して福祉をどのように考え、児童に伝えていこうとしているのか。また、先生が一人ひとりの児童に向き合い、思いや考えを引き出すスキルを学ぶことができ、次年度の推進の足掛かりとなりました。

②防災学習

竜巻や豪雨災害等いつどこで災害が起きるか分からないという現状に意識を持ってもらうために、災害について親子で楽しく学び、対応への理解と自助力を高めることを目的に開催しました。

今年度は東小田小学校PTAに趣旨説明を行い、賛同した篠隈区こども会と共同開催しました。

保護者からは目的を達成した感想をいただけたが、児童は物足りなさを感じている状況と、各子ども会から共催依頼に対する予算等課題が残る結果となりました。

- 11月12日 (土) 参加者 親子 79人

D. その他の福祉事業

①ボランティアの育成・支援

・ボランティア連絡協議会との連携

年間6回役員会・運営委員会を開催し、各団体の活動や課題の共有や、ボランティア連絡協議会主催事業として、講座やボランティアのつどいの企画立案から実施を行いました。

また他機関からのボランティア要請などの情報を提供しました。

・ハンドセラピー講座

会員のリフレッシュと、今後のボランティア活動のスキルアップを目的に開催をしました。専門の講師へ依頼し、香りの効果を学び、二人一組でハンドマッサージ体験を行いました。

7月 9日（土） 参加者 49人

・災害調理講座

熊本・大分地震を受け、災害時の食事対応を学び、災害調理実習を実践することを目的に開催しました。

環境防災課から、町の備蓄食状況・避難所のこと、熊本地震の報告を受けました。

その後、各班に分かれ限られた食材（非常食）での調理実習を行いました。

10月 8日（土） 参加者 18人

②ボランティア連絡協議会主催事業への支援

ア) ボランティアのつどい

「わかりますか？家族も安心・福祉器具・住まいのこと」をテーマに、高齢者が住んでいる場所で、安心・安全に生活できる情報を地域住民へ発信することを目的に開催しました。近隣の福祉用具取扱い企業に協力要請し、福祉用具の展示や体験、住宅改修の事例紹介、相談会を開催しました。その他、福祉課から住宅改修や福祉用具貸与の説明や、平成28年度に受賞した福岡県知事感謝状の表彰伝達を行いました。

平成29年 2月 5日（日） 参加者 90人

③母子・父子・寡婦福祉事業

ア) 白百合会のつどい

夫と死別又は離別された当時、15歳以下の子どもを扶養され25年以上経過された寡婦の方々が会員となり、苦労話を交えながら交流を行いました。

3月21日（火） 参加者 13人

③住民全般福祉事業

ア) バス停修理

老朽化した依井下り、栗田上りの電灯の交換と、栗田の下のバス停を補修しました。

E. 福祉団体への配分及び支援

①福祉団体への配分

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、ボランティア連絡協議会、小中学校への配分を行いました。

②共同作業所への配分

くるみ苑、ひだまり、みるくほうすに配分を行いました。